

姫路市ウォーカブル推進計画

—街に選択多様性をつくり、豊かな生活シーンを生む—



目次

第1章 理想のシーン



- 理想のシーン1：大手前通りエリア
- 理想のシーン2：中ノ門筋エリア
- 理想のシーン3：駅西エリア
- 理想のシーン4：住宅系エリア

第2章 背景と目的



2-1 背景

- 1) 世界の動向 (SDGs)
- 2) 世界の動向 (コペンハーゲン・パリ)
- 3) 日本の動向 (ウォーカブルの推進)
- 4) 日本の動向 (コロナの影響)
- 5) 姫路市の状況 (多様な公共空間)
- 6) 姫路市の状況 (「道」の歴史)
- 7) 姫路市の状況 (歴史的な道への整備)
- 8) 姫路市の状況 (まちなか居住)
- 9) 政策的効果 (長期的な効果)
- 10) 政策的効果 (多様な効果)

2-2 目的

- 1) 「心も身体も毎日充実した生活」を営むこと
- 2) 将来的に目指す姿
- 3) 目指す姿を実現するための3つのSTEP
- 4) 目指す姿を実現するための5つの切り口

2-3 位置付け

- 1) 多分野に渡って政策効果を発揮する計画

第3章 課題と潜在力



3-1 課題

- 1) 「魅力的な目的地」としての課題
- 2) 「快適な歩行環境」としての課題
- 3) 「偶然の出会い」としての課題

3-2 潜在力

- 1) 「魅力的な目的地」としての潜在力
- 2) 「快適な歩行環境」としての潜在力
- 3) 「偶然の出会い」としての潜在力

3-3 課題と潜在力の整理

第4章 実施方針



4-1 第4章の構成

4-2 推進区域 / 重点区域 / 検証区域の考え方

- 1) 3つの区域と、3つの時間軸で段階的にウォーカブルな環境づくりを推進していく

4-3 推進区域 (長期) の考え方

- 1) ウォーカブルな環境を推進する10の区域設定
- 2) 推進区域の目指す姿

4-4 重点区域 (中期) の考え方

- 1) 中心部における重点区域の選定
- 2) 展開場所の特徴

4-5 検証区域 (短期) の考え方

- 1) 姫路の街の特徴を反映するエリアでの検証
- 2) 大手前通りエリア
- 3) 中ノ門筋エリア
- 4) 駅西エリア

第5章 実現への道筋



5-1 ウォーカブルな環境づくりのためのアクション

- 1) ウォーカブルな環境づくりに資する様々な取組み
- 2) 取組み例1 大手前通り 活用チャレンジ「ミチミチ」
- 3) 取組み例2 歩行者利便増進道路制度
- 4) 取組み例3 健康ポイント制度の創設

5-2 計画推進のためのプログラム

- 1) ウォーカブル環境促進プログラムの位置付け
- 2) ウォーカブル環境促進プログラムの概要
- 3) ウォーカブルな環境をつくるアプローチ
- 4) 促進すべき区域の明確化
- 5) 持続可能な運用体制
- 6) 運用に向けた体制づくり
- 7) 合意形成の単位を最適化する
- 8) 取組みの進め方と目指すシーン
- 9) 居心地の良さにつながる空間デザインの要素

5-3 プログラムを進める上での課題

- 1) 道路の利活用における課題

5-4 実現への戦略的な道筋

- 1) 3段階のスケジュール

本計画の構成

第1章 理想のシーン

大手前通りエリア

中ノ門筋エリア

駅西エリア

住宅系エリア

第2章 背景と目的

1 魅力的な目的地

2 快適な歩行環境

3 偶然の出会い

第3章 課題と潜在力

1 課題

1 潜在力

2 課題

2 潜在力

3 課題

3 潜在力

第4章 実施方針

短期：検証区域（狭域）

検証区域をモデルにウォーカブルな環境づくりに資する社会実験を行い、重点区域で展開するための仕組みを構築します

中期：重点区域（中域）

短期の取組み成果をもとに、重点区域へ取組みを展開し、実施範囲を拡大します

長期：推進区域（広域）

推進区域全域に取組みを拡大し、ウォーカブルな環境づくりを通して豊かな生活シーンを実現します

第5章 実現への道筋

計画推進のためのプログラムにおける仕組みづくり

交通制御

沿道活用

プラスα